

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

p-クロロアニリンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

No. 2000-生11

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： p-クロロアニリン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (週3回 (月、水、金) に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度(設定値)： 対照区, 0.0032, 0.010, 0.032, 0.10, 0.32 mg/L
公比 ; 3.2
- 6) 試験液量： 80 mL/容器
- 7) 連数： 10容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 10頭/濃度区 (1頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1 °C
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： HPLC法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20%以内であり、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

2) 21 日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) : 0.067 mg/L

(95%信頼区間 : 0.034~0.091 mg/L)

50% 繁殖阻害濃度 (EC50) : 0.010 mg/L

(95%信頼区間 : 0.006~0.016 mg/L)

最大無作用濃度 (NOEC) : 0.0032 mg/L

最小作用濃度 (LOEC) : 0.010 mg/L